

西東京市一店逸品事業

よいもの発見! 逸品めぐり

第3弾募集!



食品関係の業種(飲食店メニュー・お持ち帰り商品)対象

市では、西東京商工会と協力して、モノやサービスなど個店独自の「逸品」を確立し、入りたくなる店づくりへとつなげる一店逸品事業を平成24年度よりスタートしました。

第1弾(平成24年度)では、食品関係の業種を対象に逸品を認定し、第2弾(平成25年度)では、物品販売業・サービス業・ものづくり業などを対象に逸品を認定しました。認定された逸品は、紹介冊子やスタンプラリー、イベント出店などを通じて市内外にPRを行っています。

平成26年度は、第3弾として再度、食品関係の業種を対象として、他店にはない、その店ならではのこだわりのある自慢の逸品を募集します。

募集に際して、事業を営む方だけでなく、一般消費者の声も取り入れられるよう、市民の皆さんからの推薦も受け付けます。皆さんで一店逸品事業を盛り上げましょう。

本事業は産業振興マスタープランに位置づけられた事業で、西東京商工会への補助事業として実施し、商工会が組織する運営委員会と選考委員会により進めています。

◆産業振興課 ☎042-438-4041

1 募集

◆市内で事業を営む方からの自薦

自店・自社ならではの自慢の逸品をご応募ください。

対象業種 食品関係の業種(飲食店メニュー・お持ち帰り商品)

応募方法 専用の申込用紙を ☎へ提出

※申込用紙は、西東京商工会または一店逸品事業専用HPから入手できます。

応募期限 10月31日(金)必着

参加基準 本事業へ参加するにあたり、参加基準を満たしている必要があります。詳細は、一店逸品事業専用HPまたは ☎までお問い合わせください。

- ①自店・自社ならではの自慢できるこだわりの逸品があること
 - ②応募した逸品を常に安定的に供給・提供し続けることができること
 - ③逸品活動に則した販売活動・店舗管理・品揃えができること
 - ④一店逸品事業に係る活動(※)に協力できること
- ※認定前の事前確認・周知事業(冊子作成、スタンプラリー、イベント出店)など
- ⑤西東京商工会の会員であること
 - ⑥税金の滞納がないこと
 - ⑦市内に継続的に販売できる拠点があること



◆市民の皆さんからの推薦

一般消費者の目線から、市内の食品関係のお店の商品(飲食店メニュー・お持ち帰り商品)の中で、自分が最も気に入っている商品をご応募ください。

推薦された商品の取扱店に、事業への参加意向の確認を行います。

応募方法 一店逸品事業専用HPから、または直接 ☎へ **応募期間** 10月31日(金)まで

2 審査

選考委員会にて選考を実施します。

- 1次審査：書類審査
- 2次審査：逸品・店舗・事業者などの確認

3 認定

選考委員会の結果を踏まえ、運営委員会で認定を行います。

認定された商品は、専用HPで店舗名とともに紹介します。また平成27年度に作製予定の逸品紹介冊子への掲載など、一店逸品事業を通じて優れた地域資源を市内外にアピールし、地域産業の活性化につなげていきます。

西東京商工会一店逸品事業専用HP <http://www.ittenippin.com/>

☎西東京商工会(保谷事務所：住吉町6-1-5) ☎042-424-3600

大好きです
西東京

市内の情報をお届けします

まちを楽しむ編

1964年東京オリンピック・パラリンピック 50周年

～あの頃、そして2020年東京五輪へ～

1964(昭和39)年の東京五輪開催から今年でちょうど50年の節目を迎えます。高度経済成長期の日本は、初の五輪開催に向け驚異的な発展を遂げ、戦後の日本再生を世界に印象付けました。そんな50年前の東京を振り返るとともに、私たちが暮らすこの東京で、6年後の2020(平成32年)年に再び五輪が開催されることの意味を考えてみませんか。今回は田無庁舎で行っていた記念写真展の一部をご紹介します(保谷庁舎は9月17日(水)から)。

50年前、オリンピックの開催に合わせて高速道路や新幹線の開通をはじめ、インフラの整備が次々と進められました。当時では国内最大の公団住宅となるひばりが丘団地(現在のひばりが丘パークヒルズ)ができたのもこの頃で、時の皇太子ご夫妻が視察に訪れたことでも注目を集めました。

また、その頃行われていた田無・保

谷の各市民運動会の様子も残されています。定番の徒競走のほか、「たばこ火付け競争(ぶら下がった蚊取り線香からたばこに火を付ける)」や「アベック競走(男女ペアによる二人三脚)」など一風変わった種目もありました。

そして、今となってはおなじみのパラリンピック(オリンピック開催年に同国で行われる国際身体障害者スポーツ大会)は、この東京大会が



ひばりが丘団地



たばこ火付け競争



アベック競走

第2回とされています。実は「パラリンピック」という愛称を名付けたのは、当時の日本のマスコミでした(正式名称としての認定は1985年)。

障害のある人もない人も、己を磨き努力し続ける姿は人々に感動を与えてくれます。東日本大震災による爪痕もいまだ癒えず明るい話題ばかりではありませんが、6年後に向け日々研鑽を重ねるアスリートたちを支え応援し、すばらしい大会となるよう盛り上げていきましょう。

◆秘書広報課 ☎042-460-9804

■50周年記念写真展

時 9月17日(水)～30日(火)

午前8時30分～午後5時

場 保谷庁舎1階ロビー

※22日(月)、土・日曜日、祝日を除く

◆スポーツ振興課保

(☎042-438-4081)



パラリンピック・バスケットボール

多摩六都 20th 科学館ナビ

ボランティア会 会員募集

来館者とふれあいながら科学の面白さを伝えるボランティアを募集します。科学に興味のある方、子どもたちと接するのが好きな方、工作・実験・自然観察・読み聞かせなど、特技を生かしてみませんか(活動は無償)。

□募集期限 9月30日(火)まで

内 教室・イベントの企画・運営、展示室での来館者との対話など

対・定 一般ボランティア：18～70歳程度で週1回程度(特に土・日曜日)に活動できる方・20人

ジュニアボランティア：小学5年生～18歳で月に1回程度活動できる方(要保護者同意)・10人

申 当館・市役所・公民館・図書館などにある応募用紙に記入し ☎へ(当館HPからもダウンロード可)

問 多摩六都科学館(〒188-0014 芝久保町5-10-64) ☎042-469-6100